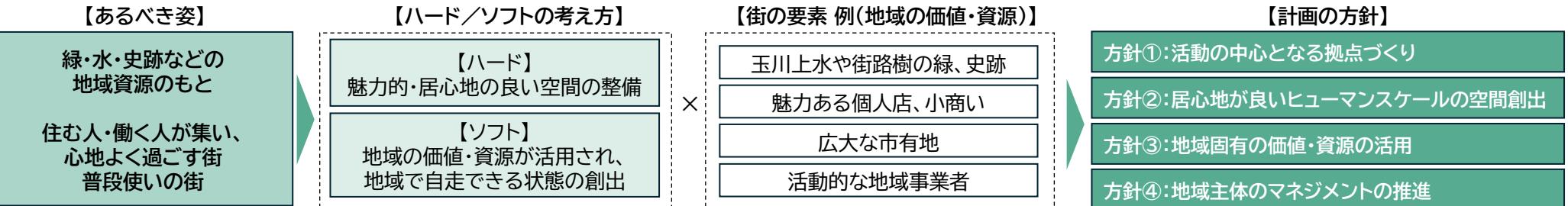


緑・にぎわいの考え方(案)

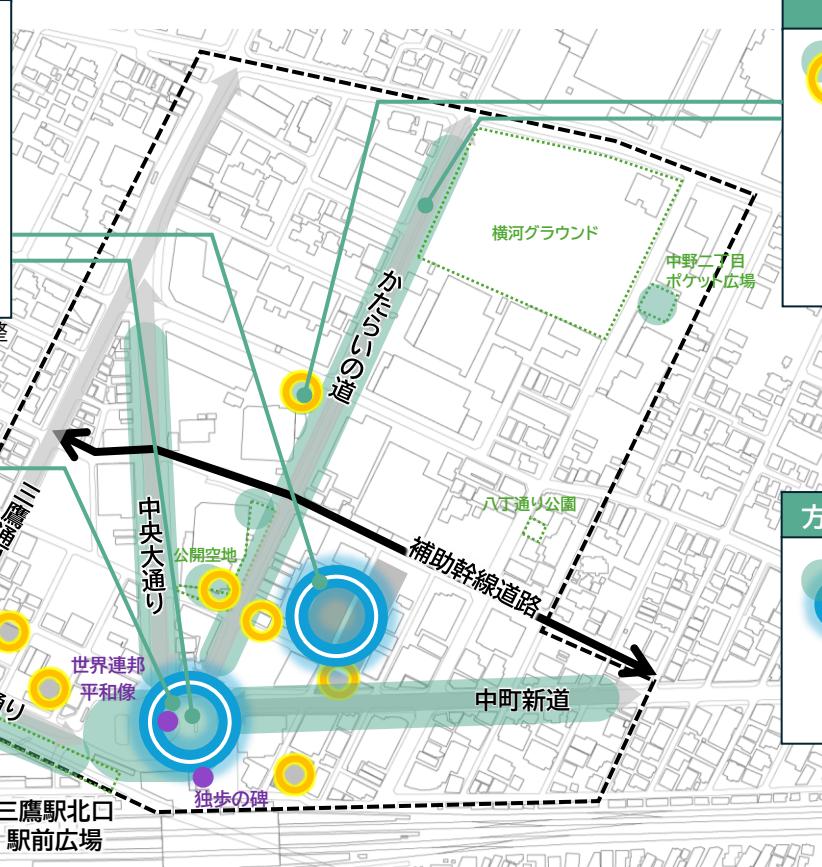


計画の方針(案)

方針①:活動の中心となる拠点づくり

- 駅に近いほど、人、モノ、情報が集まる。
- 玉川上水や史跡は、三鷹駅の至近にある。
- 駅前広場や市有地が活動の場として考えられる。
- 三鷹駅北口の中心にあり、「拠点」としてふさわしい。
- 様々な活動や滞留機能もしくは将来の変化にも柔軟に対応できる「オープンスペース」が望ましい。
- あわせて、地域や活動する団体の拠点となる施設の併設が考えられるとともに、災害時の避難場所や防災拠点としての機能の充実にもつながる。

※駐輪場用地活用については「土地利用」方針と要調整



方針②:居心地が良いヒューマンスケールの空間創出

- 民地／市有地を活用し、住む人、働く人などが居心地よく過ごす「小さな広場」を街に埋め込む。
- いろいろな形の「小さな広場(空間)」が、多世代や地域のつながりに生み出す。
- 多世代や地域のつながりによって、新たな活動が生まれ、新たなにぎわいを生み出す。

方針③:地域固有の価値・資源の活用

- 玉川上水は、駅の至近には珍しい水資源であり、地域固有の資源である。桜通りとの一体的な空間づくりがさらなる資源の活用や魅力向上につながる。
- 世界連邦平和像や独歩の碑をさらに活用するため、史跡の周囲に滞留空間を設け、史跡の情報を発信するとともに、待ち合わせなどの地域シンボルとして活用する。

- 活動の中心拠点
- 緑の拠点・ネットワーク
- 暮らしを支える小規模施設・広場

方針④:地域主体のマネジメントの推進

- 既に育まれてきた活動をベースに、地域住民や地元企業等の更なる協働によって緑とパブリックスペースのマネジメントを行う。
- 緑地の維持管理や、イベントの管理運営を地域主体で行う。

計画の方針:イメージ事例

- 緑、賑わいのイメージとして、「活動の中心となる拠点づくり」、「居心地の良いヒューマンスケールの空間創出」、「地域固有の価値・資源の活用」の事例を示す。

方針①:活動の中心となる拠点づくり
<ul style="list-style-type: none"> ・人、モノ、情報が集まり、お互いの顔が見える地域の活動の中心となる場 ・「小さく何かやってみたい」を叶えられる場 ・災害時の避難場所や防災拠点としての機能

方針②:居心地が良いヒューマンスケールの空間創出
<ul style="list-style-type: none"> ・民地／市有地を活用し、住む人、働く人などが居心地よく過ごす「小さな広場」を街に埋め込む ・地域の自然の保全・活用、緑のネットワーク構築

方針③:地域固有の価値・資源の活用 方針④:地域主体のマネジメントの推進
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の価値(自然・史跡・文化)を発掘し、それらを発信・体感できる取り組みの支援 ・住民、企業等の協働による緑とパブリックスペースのマネジメント

○下北沢:BONUS TRACK・下北線路街 空き地



- ・新たなチャレンジや個人の商いを応援する場
- ・多様なジャンルのイベントや、オーナーが定期的に入れ替わるPOP UPキッチンなどが開催
- ・地域一帯のイベントの拠点的位置付け

<出典:https://www.realpublicestate.jp/post/bonus-track_1/
<https://uds-net.co.jp/press-release/press-11641/>

○茨木市:文化・子育て複合施設 おにくる



- ・ホールや図書館、子育て支援、市民活動センター、プラネタリウムなどの機能が入った複合施設。
- ・芝生広場は、マルシェや音楽イベント等で使用可能。

<出典:<https://www.onikuru.jp/>

○姫路市:姫路駅前広場



- ・世界遺産・姫路城を焦点とするヴィスタ「大手前通り」とその起点である駅前広場の総合的な開発事業。
- ・日本初のトランジットモールとし、サンクンガーデン、芝生広場、眺望デッキなど、人のための駅前広場へ。

<出典:<https://wao-archi.com/project/public/himeji-station.html>

○武蔵野市:境南ふれあい広場公園



- ・地域住民の交流と憩いを目的に整備された公共空間。多世代が利用できるオープンスペースは散歩や遊び場、防災拠点として機能し、季節のイベントも開かれるなど地域のにぎわいを育む。

<出典:<https://www.mitsumura-tosho.co.jp/webmaga/kotoba-to-manabi/library/detail03.html>
<https://www.musashino.or.jp/place/1001617/1002792/1001624/1004948/1004954.html>

○下北沢:シモキタ園芸部 こや・のはら



- ・こや:緑を介したまちづくりを担う下北園芸部の拠点
- ・のはら:下北園芸部が、のはらをはじめ、下北線路街の植栽管理を担う。
- ・駅前空間での緑地づくりにより、生態系形成にも寄与。

<出典:<https://shimokita-engei.jp/>

○武蔵野市:タワーズマルシェ@むさしの／ENJOY! OPEN TERRACEs



- ・武蔵野タワーズの公開空地を利用した、地域に根付くマルシェイベントを定期的に開催。
- ・パブリックスペースの日常的な利活用やにぎわいづくりについて検証するため、歩道上にテーブルやイス、ベンチ等を実験的に設置。

<出典:<https://mu-maru.com>、
https://www.city.musashino.lg.jp/res/projects/default_project_.page/001/031/760/2023kekka.pdf